

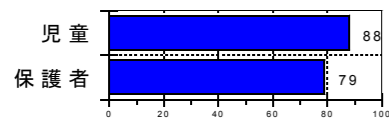
<総合評価における「評定」基準>

A…十分達成できた B…概ね達成できた C…達成できなかった

### 基本的な生活習慣の定着

総合評価 (評定) B

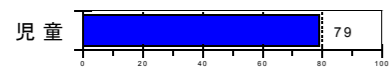
#### あいさつの徹底



※☆が評価指標の達成度, ◎が実施状況

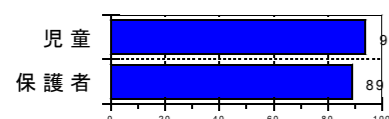
☆アンケート結果からの児童の達成は88%、保護者79%で、達成度に違いがある。  
◎常時指導に力を入れた。また児童による校でのあいさつ運動を行った。

#### 正しい言葉遣いの向上



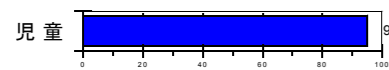
☆丁寧な言葉遣いは児童79%で、課題がある。  
◎相手を大切に思う気持ちをもって、「～さん」づけで呼ぶことや、乱暴な言葉を使わず話すことを学級や学校全体で指導してきた。

#### 規範意識の向上



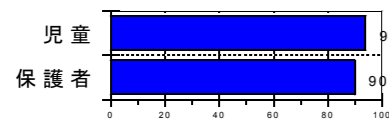
☆児童、保護者とも目標を上回っているが、廊下を走ったりなどルールが守れていない児童もいる。  
◎個別に指導を要する家庭には、担任が直接生活習慣改善への協力を求めた。

#### 防災教育の充実



☆交通ルールやきまりを守り、安全に生活している児童は95%と高い割合であった。  
◎交通安全指導の徹底を図ってきた。

#### 正しい生活リズムの向上



☆児童94%、保護者90%で概ね達成できた。  
◎個別に指導を要する家庭には、担任が直接生活習慣改善への協力を求めた。

#### <所見>

○進んであいさつするのは、評価指標が90%以上であるので、依然として目標を達成できていない状況である。今後も、常時指導や児童の自主的な活動の充実にも力を入れ、向上を図りたい。  
○規範意識についても学習・生活のきまりを徹底していきたい。

#### <学校関係者の意見>

○外部の者には、あいさつしにくい面があるのかもしれない。子どもを見かけたら、大きな声であいさつするようにしている。  
○これからも指導をお願いしたい。

#### <次年度への課題と今後の改善方策>

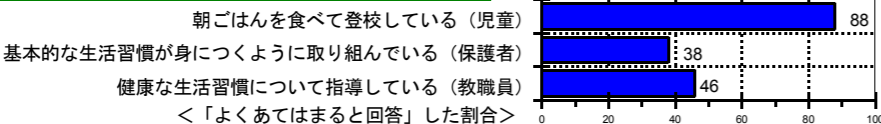
○あいさつや言葉遣い等の指導を、全教職員で今後も共通理解を図り、継続的に根気強く取り組む。  
○児童が主体となり、自らの活動でよくなったと実感できる活動を工夫して取り組む。  
○SSTを学び、効果的に取り入れる。  
○清掃時は無言清掃が徹底できるよう指導していく。



### 元気な体づくり

総合評価 (評定) B

#### 規則正しい生活を送ろうとする態度の育成



<「よくあてはまると回答」した割合>

#### 魅力的な体育授業づくりの推進

☆めあてをもって体育学習に取り組み、休み時間もしっかり運動遊びをしていると回答した児童は、よくあてはまるが62%、大体あてはまるが21%であった。17%の児童があてはまらなと回答した。

#### 運動の日常化

☆子どもに休み時間は外で運動するように指導していると回答した教職員は、よくあてはまるが9%、大体あてはまるが82%であった。

※☆が評価指標の達成度, ◎が実施状況

## 平成28年度 学校評価総括表 課題と改善策

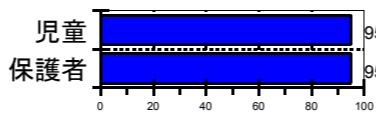
### 確かな学力の向上

総合評価 (評定) B

#### 分かる授業のための授業改善と学習意欲の向上

※☆が評価指標の達成度, ◎が実施状況

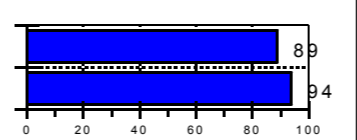
##### 分かる授業の評価



☆分かる授業に取り組んでいる評価指標が85%以上に対し、児童95%、保護者95%であり、達成している。  
☆自己の研修目標を意識し、校内研修や校外・自己研修に励んでいる教職員は82%であった。  
◎大研3回、中研3回、計6回の授業研究会を行い、校内研修に努めた。

##### 保護者の評価

子どもは意欲的に学習に取り組んでいる  
先生は子どもの能力や努力を適切にみている



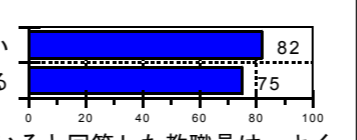
#### 基礎学力の向上

☆各教科の指導内容について、基礎基本を明確にし、わかりやすい授業を行っている回答した教職員は、よくあてはまるが36%、大体あてはまるが64%であった。  
☆学習の遅れがちな子どもに適切な支援をしていると回答した教職員は、よくあてはまるが27%、大体あてはまるが73%であった。  
◎朝の学習や放課後等を利用した個別指導に取り組んできた。

#### 言語力の育成

##### 児童の評価

授業では自分で考えたり活動したりすることが多い  
自分の意見を発表し進んで学習に取り組んでいる



☆個人学習やグループ学習の場を意図的に設定していると回答した教職員は、よくあてはまるが18%、大体あてはまるが82%であった。  
☆子ども相互の教え合い、学び合いの場を意図的に設定していると回答した教職員も、よくあてはまるが18%、大体あてはまるが82%であった。  
◎学校全体の読書量を増やすために、家庭・学校での読書記録を取り入れた。

#### 家庭学習習慣の育成

☆忘れ物がないように気をつけ、宿題はきちんとやりとげていると回答した児童は、よくあてはまるが63%、大体あてはまるが23%であった。  
◎「家庭学習の手引」を再検討し、活用できるように指導した。また、毎学期宿題や自主学習調査を実施して課題を把握した。

#### <所見>

○基礎基本の習得に課題が残り、言語活動の充実や主体的な学びにはあまり取り組めなかった。  
○個に応じた指導や研修には意欲的に取り組めた。

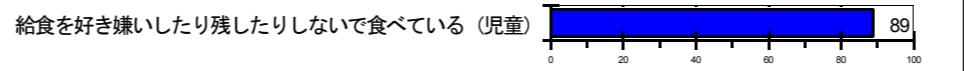
#### <学校関係者の意見>

○先生方が少ないなかで、頑張ってもらっている。学力と同時に、いろんな面で頑張れるリーダー性も育ててほしい。  
○社会経験が少ないため、語彙が少ない気がする。

#### <次年度への課題と今後の改善方策>

○全校で統一した取り組みにより基礎基本の充実を図り、個に応じた効果的な個別指導の工夫に努める。また、授業方法の共通化や学習規律の徹底を図る。  
○宿題・自主学習調査で明らかとなった課題を基に、家庭学習における「応神小家庭学習モデル」の確立に取り組む。

#### 食育の推進



☆好き嫌いをなくし、食べ残しをしないが85%以上の評価指標に対し、89%であり、達成できている。  
◎講師を招き、2学年と4学年で食育の授業を実施した。

#### <所見>

○天気のいい日は、原則全員が外遊びできるように呼びかけしていきたい。給食指導についても、全校体制で共通指導を徹底していきたい。

#### <学校関係者の意見>

○食育は大切であるので、継続して取り組んでほしい。  
○生活習慣は小さい頃からの積み重ねが大切。保護者の協力も欠かせない。

#### <次年度への課題と今後の改善方策>

○体育の授業での児童の運動量の確保に努める。また、体育関連設備の充実に努める。  
○季節に応じた遊びや運動を紹介し、休み時間等での運動遊びの活性化に努める。  
○全校で食育の指導に取り組んでいく。

児童数197名 学級数7 教職員数18名 (2017.2.17現在)

## 徳島市応神小学校

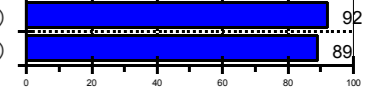
### 豊かな仲間づくりの推進

総合評価 (評定) B

#### 望ましい集団活動の充実

※☆が評価指標の達成度, ◎が実施状況

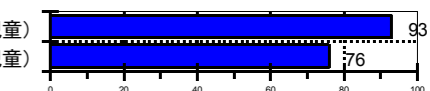
友達にやさしく困っている友達を助けようとしている (児童) 92  
子どもたちはやさしく思いやりのある態度が見られる (保護者) 89



☆「友達に優しく助けようとしている」が85%以上の評価指標に対し、児童92%、保護者89%が達成できたと回答。さらなる向上をめざしたい。  
◎計画委員会等が中心となり、絆班活動を年間3回以上実施できた。保育所・幼稚園ともそれぞれ年間2回交流することができた。

#### 自尊感情の向上

先生は自分ががんばったことをほめてくれる (児童) 93  
友達は自分のよいところやがんばりを認めてくれる (児童) 76



☆個々の子どものがんばりを見つけ、褒めていると回答した教職員は、よくあてはまるが55%であった。  
☆子どもの良い行動を積極的に見つけて、クラス全体で紹介していると回答した教職員は、よくあてはまるが46%であった。  
◎機会あるごとに良い行いを賞賛したり、学習発表会等の集団活動で個性を生かしたりする活動ができた。

#### 心に響く道徳教育の充実

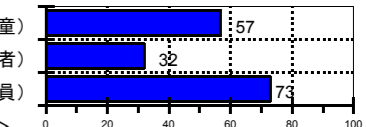
☆人権(なかまづくり)のことに、話を聞いたり、考えたりすることが多いと回答した児童は、よくあてはまるが36%、大体あてはまるが42%であった。  
☆子どもの発達段階や生活背景を理解し、全教育活動において道徳教育や人権教育の推進に努めていると回答した教職員は、よくあてはまるが46%であった。

#### 将来に向けたビジョンづくりの推進

☆個々の子どもの将来(学年末や将来)に向けた、成長目標をイメージしていると回答した教職員は、よくあてはまるが46%、大体あてはまるが56%であった。  
◎キャリア教育を推進し、外部講師の出前授業の実施、教育関係施設等の見学などの体験学習の充実を図った。

#### いじめの未然防止、早期発見・早期対応

友達にやさしく困っている友達を助けようとしている (児童) 57  
いじめのない明るい学校づくりに取り組んでいる (保護者) 32  
差別や偏見・いじめのない学級集団づくりに努めている (教職員) 73



<「よくあてはまる」と回答した割合>

☆いじめのない学校づくりができて90%以上の評価指標に対して、保護者の回答(大体あてはまるを含む)が87%であった。目標が達成できるよう努力したい。  
◎全校いじめアンケートを年間2回実施し、早期発見に努めた。

#### <所見>

○いじめのない学校づくりや仲間づくりに、全教職員で共通理解を図り取り組むとともに、関係保護者への丁寧な説明に努めたい。また、家庭や関係機関とより一層の連携を図りたい。

#### <学校関係者の意見>

○思春期にはちょっとしたことで悩んだりするので、自己肯定感をしっかり育ててほしい。

#### <次年度への課題と今後の改善方策>

○保護者にも自尊感情の大切さを啓発していく。  
○子ども同士でよさを見つけ合い認め合う習慣を育てる。  
○教師が率先して子どもの頑張りや良いところを賞賛する場面を多くする。  
○教師と子ども、及び子ども同士によりよい関係を築くよう努める。

### 学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とした、自主的で創造力に富んだ、心豊かでたくましく生きる子どもを育てる

#### めざす学校像

- 温かな学校
- 活力あふれる学校
- 信頼される学校

#### めざす子ども像

- 明るくたくましい子ども
- 助け合い励まし合う子ども
- よく学び伸びていく子ども
- 基礎基本・学ぶ意欲

#### めざす教職員像

- 使命感をもち信頼される教職員
- 同僚性・協働性のある教職員
- 子どもとともに伸びる教職員

